

事例9

< 事例概要 >

- ・ 60 歳代。腹部手術歴あり。化学療法、放射線療法を受けていた。るいそう、四肢浮腫があり、自力での体動が困難であった。
- ・ 下痢、黒色便があり、消化管出血の確認目的で大腸内視鏡検査が予定され入院した。
- ・ 検査当日、経管栄養チューブよりニフレック1,800 mL を注入後に嘔吐あり、注入は中止された。泥状便が数回あった。検査開始時に嘔吐があり検査は中止された。その後呼吸状態が悪化し翌日死亡した。
- ・ 死因は、急性呼吸不全の疑い。死亡時画像診断（Ai） 無、解剖無。